

われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。



発行所 〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟
電話代表 086-271-7175
FAX 086-271-4815
郵便振替 岡山01230-9-3532
発行責任者 岸清美
編集責任者 豊島始男
印刷所 西尾総合印刷株式会社
定価(郵税共) 年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

戦後六十六年目の夏

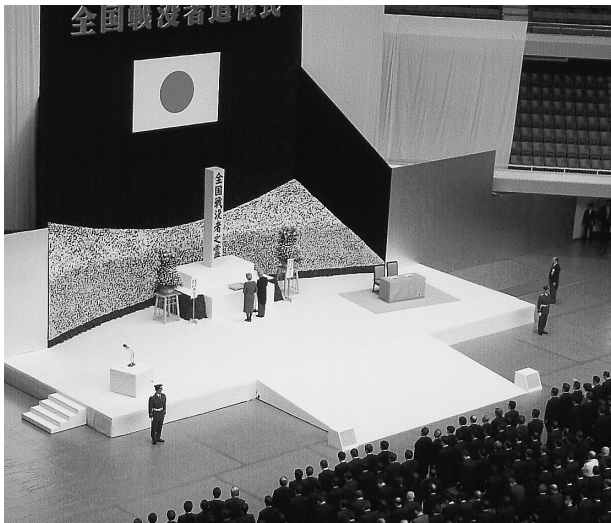
天皇皇后両陛下をお迎えし 第49回全国戦没者追悼式を挙行

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」である八月十五日、天皇皇后両陛下をお迎えし第四十九回全国戦没者追悼式が東京北の丸公園にある日本武道館で執り行われた。

式典には戦没・被災遺族代表約四千人、菅直人総理ら各界代表約千二百人が参列。先の大戦で戦禍に倒れた軍人・軍属約二百三十万人、民間犠牲者約八十万人の御霊の冥福をお祈りすると共に、世界平和実現へ誓いを新たにしました。

岡山県参列遺族代表団は、最高齢者である玉野市の中野貞子さん(89歳/戦没者の妻)を筆頭に総員九十二名。式典前日の十四日午前、岡山駅から新幹線で東京。都内の宿舎で追悼式の説明を受けて明日の本番に備えた。八月十五日の終戦の日

は六十六年前と同様に朝から晴れわたり、猛暑の中、代表団は全国から到着したご遺族と共に日本武道館に入場した。本年度の全国参列ご遺族の内、戦没者の妻の参列は四十八人と全参列者の僅か一割。岡山県においても中野さん一人の参列となり、戦後六十六年の歳



月を強く感じさせる。定刻の午前十一時五十分、厚生労働省職員のアナウンスにより全員が起立して天皇皇后両陛下をお迎えし、国歌を斉唱。そして、菅直人内閣総理大臣が壇上に進み、「戦没者の無念を思うとき今なお悲痛の思いが込み上

お迎えし、国歌を斉唱。そして、菅直人内閣総理大臣が壇上に進み、「戦没者の無念を思うとき今なお悲痛の思いが込み上

げてきます。不戦の誓いを新たにし世界の恒久平和に全力を尽くします」と式辞を述べた。しかし、平成五年の細川内閣から踏襲されている加害責任に言及し「深く反省する」との謝罪を再び表明した。次いで、天皇皇后両陛下が中央祭壇にお進みになり、正午の時報を合図に、戦没者の御霊に一分間の黙祷を捧げた。そして天皇陛下から「かけがえない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。戦争の惨禍が再び繰り返されないことを切に願ひ、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります」とおことばを賜った。

次いで、横路衆議院議長、尾辻参議院副議長、竹崎最高裁長官の追悼の言葉に続いて、海軍兵だった父をフィリピンで亡くされた河西佐智子さん

天皇陛下おことば

本日、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、先の大戦において、かけがえない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

終戦以来既に六十六年、国民のためみない努力により、今日の我が国の平和と繁栄が築き上げられましたが、苦難に満ちた往時をしのぶとき、感慨は今なお尽きることがありません。

ここに歴史を顧み、戦争の惨禍が再び繰り返されないことを切に願ひ、全国民と共に、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。

(山梨県遺族会女性部副部長)が、「悲惨な戦争を体験したわたしたち遺族は、この体験を語り継ぐ責任があります。大震災により我が国は未だ多くの困難に直面しています。が、今こそ、力を合わせて乗り越えて行かなければなりません」と、遺族を代表して追悼の言葉を述べた。

次いで、菅総理をはじめ各党・各界代表に続いて全国都道府県参列遺族代表が献花を行い、昭和二十年にビルマ(現ミャンマー)でご主人を亡くした中野貞子さんが岡山県参列遺族を代表して白菊を祭壇に捧げ、御霊の冥福をお祈りした。

当日は、岡山県下各市町村で半旗の掲揚と職員

追悼の言葉

参議院副議長

尾辻 秀久

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、御遺族の皆様

これら犠牲となられた方々の御無念、そして、最愛の肉親を失われた御

遺族の悲しみ、国土が荒廃する中で日々の糧にも事欠くなど、戦中戦後の長きにわたり厳しい生活を強いられた多くの方々、御苦労に思いを致すと、万感胸に迫りくるものがあります。

今日、人類はなお、争いを地上から根絶できずにおります。戦後六十六年が経過し、戦争の記憶が風化していくなか、私達日本国民は、国内においては、あの惨烈を極めた戦争の記憶を改めてしっかりと次の世代に語り継ぐとともに、国際社会においても、あらゆる戦争を根絶するよう訴え、行動していかなくてはなりません。

本日の式典に臨み、平和の尊さを強く胸に刻み、戦争のない平和な世界の実現に向け、更なる努力を続けていくことを、固くお誓い申し上げます。

私達は、御遺族の皆様への援護施策が更に充実・改善されますよう、これからも全力を尽くしてまいります。衆議院議長のお言葉にございましたので、私からも申し上げます。私自身遺骨収集には何回も何回も参りました。物言わぬご遺骨を胸に抱いて、もしこのご遺骨が何か仰りたいなら何を仰るのだから、そう思いながら、帰ったものです。今も遺骨収集すら終わっていない

追悼の辞

全国戦没者遺族代表

河西 佐智子

本日、ここに天皇后陛下をお迎えし、各界の代表をはじめ全国各地から遺族代表が集い、全国戦没者追悼式が厳粛に挙行されるにあたり、戦没者遺族を代表して、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

と家族の行く末を案じつつ、尊い命を捧げられた御英霊の在りし日に思いをいたすとき、戦後六十年有余を経た今もなお、万感胸に迫るのを禁じ得ません。

顧みますと、私たち戦没者の遺族が歩んだ道程は長く苦しい歲月でありました。その中で私たちは、互いに助け合い、励まし合いながら懸命に生き抜いて参りました。これこそが、尊い生命を捧

げたられた御英霊の皆様のご遺志にお応えする唯一の道と信じたからでございます。

本日、先の大戦が終りを告げ、我が国に平和がよみがえったあの終戦の日であります。苛烈で苦難に満ちた過ぐる戦争において、祖国の安泰

へは、残念でありま

す。今後ともこうしたことにも全力を挙げることを改めてここにお願い申し上げます。

ここに戦没者の方々のご冥福をお祈りするとともに、暑さ厳しい折、御遺族の皆さまにおかれては、くれぐれもお体に気をつけてられますよう、心から祈念いたしまして、追悼の言葉といたします。

戦後、我が国は焦土と化した大地から見事に復興し、平和で豊かな文化国家として躍進を続けて参りました。これもひとえに、諸英霊の尊い礎の上に築かれたものであることを私たち日本国民は深く胸に刻み、決して忘れてはなりません。政府が、八月十五日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」と制定されたことは誠に意義深いものと思

います。

今、我が国は、東日本大震災がもたらした未曾有の被害からの復興に向け、懸命に取り組んでいます。懸念するところですが、未だ多くの困難な課題に直面しております。こうした時

である今こそ、諸英霊の尊い精神に思いをいたし、深く感謝の誠を捧げ、諸英霊が愛したこの国の発展に向け、我々国民は力を合わせて乗り越えていかなければなりません。

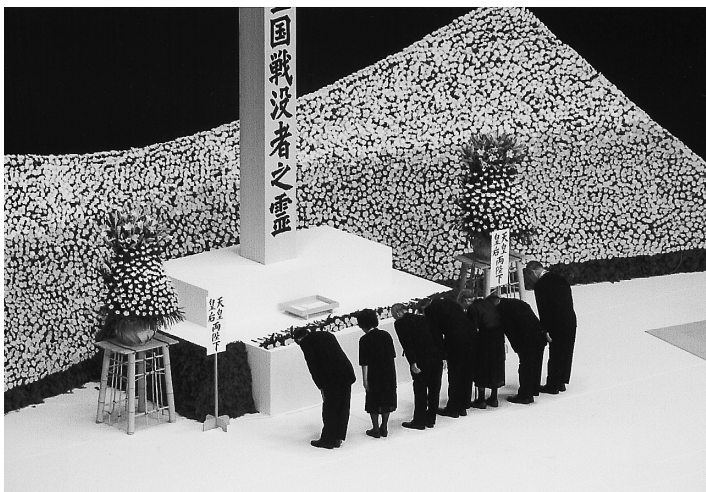
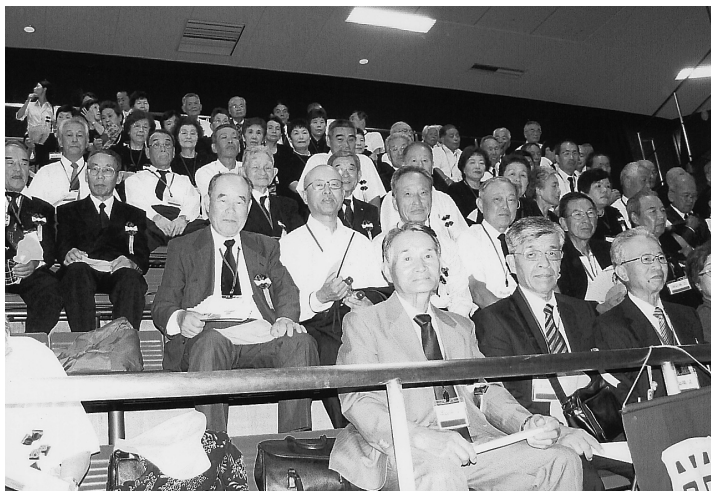
本日は、来賓多数のご参列を仰ぎ、厳かに追悼式を挙行していただき、御霊たちは申すに及ばず、私たち遺族にとりまして無上の慰めであり、感謝と感激の極みでございます。

ます。ここに遺族一同に代りまして、衷心より厚く御礼申し上げます。

恒久平和の実現と祖国の発展を願い、その尊い生命をなげうたれた御霊たちが我が日本をお守り下さることを固く信じますとともに、悲惨な戦争の苦悩を身を以って体験した私たち遺族は、この

悲しい歴史を二度と繰り返さないことをお誓い致します。

終わりに臨み、御霊たちのご冥福と、ご遺族各位のご多幸とご健康を心から祈念し、併せて御霊たちがこよなく愛したこの国の力強い発展を心から念じ、追悼の言葉といたします。



岡山県を代表し献花する中野貞子さん（右から3人目）

参列された岡山県遺族代表の皆さん

衆参国会議員百二十七人が靖國神社に参拝

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」である八月十五日の朝、超党派の国会議員で構成する「みんなが靖國神社に参拝する国会議員の会」(会長・古賀誠衆議院議員/日本遺族会会長)の会員ら、衆参両院国会議員百二十七人(谷垣禎一自由民主党総裁ら十一人は別途参拝)が靖國神社に参拝し、社に眠る戦没者(英霊)の冥福をお祈りすると共に感謝の誠を捧げた。

しかし、政府からは国民新党の森田総務務務官、無所属の浜田和幸総務務官、民主党の笠浩史文部科学政務官が参拝したが、「(所謂)A級戦犯が合祀されており、首相や閣僚の公式参拝には問題がある」として、総理在任中は参拝しないことを繰り返し表明している菅直人総理をはじめ、閣僚の参拝は昨年に行われなかった。

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」について、安倍晋三元総理は「菅政権の判断なのだろうと思うが、国のために命を捧げた方々が祀られている靖國神社には参拝していただきたい」と述べた。

参拝された衆参両院議員及び別途参拝の議員は次のとおり。

(党派別・敬称略)



古賀誠議長を先頭に参拝する衆参国会議員 (8月15日: 靖國神社)

議員本人参拝

衆議院 37人

【自民党】逢沢一郎、安倍晋三、稲田朋美、井上信治、梶山弘志、小泉進次郎、古賀誠、新藤義孝、高市早苗、竹下亘、谷垣禎一、田村憲久、中谷元、西野陽、野田聖子、古川禎久、古屋圭司、三ツ矢憲生、森英介、森喜朗

参議院 27人

【自民党】大西孝典、木内孝胤、橋秀徳、長尾敬、萩原仁、原口一博、福島伸亨、松原仁、向山好一、柳田和己、笠浩史、渡辺義彦

【民主党】大西孝典、木内孝胤、橋秀徳、長尾敬、萩原仁、原口一博、福島伸亨、松原仁、向山好一、柳田和己、笠浩史、渡辺義彦

【国民新党】亀井静香、下地幹郎

【無所属】衛藤征士郎、中島正純

参議院 27人

【自民党】有村治子、磯崎仁彦、岩城光英、宇都隆史、衛藤晟一、岸信夫、熊谷大、佐藤信秋、佐藤正久、山東昭子、世耕弘成、塚田一郎、中川雅治、中原八一、藤川政人、牧野たかお、丸川珠代、水落敏栄、三原じゅんこ、山谷えり子

【民主党】羽田雄一郎、前田武志

【たちあがれ日本】片山虎之助、中川恭子

【国民新党】森田高

【無所属】尾辻秀久、浜田和幸

議員代理参拝

衆議院 42人

【自民党】赤澤亮正、阿部俊子、石破茂、伊吹文明、今村雅弘、江藤拓、大野功統、小里泰弘、加藤勝信、金子一義、金子恭之、川崎二郎、木村太郎、小池百合子、後藤田正純、佐田玄一郎、塩崎恭久、柴山昌彦、高木毅、武部勤、田中和徳、棚橋泰文、谷川弥一、田野瀬良太、中川秀直、西村康稔、額賀福志郎、平井卓也、福井照、保利耕輔、町村信孝、松本純、村上誠一郎、望月義夫、山口俊一、山本公一、山本有二

【民主党】石山敬貴、川口博、鈴木克昌、高邑勉

【たちあがれ日本】園田博之

参議院 21人

【自民党】青木一彦、石井準一、上野通子、岡田広加治屋義人、金子原二郎、関口昌一、谷川秀善、中曾根弘文、中西祐介、野村哲郎、林芳正、福岡資男、鷹松村祥史、松村龍二、松山政司、山崎正昭、山本一太、山本順三

【国民新党】自見庄三郎

しっかりと頑張りなさい

陸軍軍属(学徒) 立川 絹 江 命

昭和二十年八月二十三日
原子爆弾のため本籍地にて戦傷死
佐賀県杵島郡橋村出身 十九歳

安ちゃん。お手紙ありがたう。もっと早く返事書かうと思つておりましたが、なかなかひまがないのでこんなにおそくなつてしまいました。ごめんなさいね。皆がおりこうさんで暮してゐるので、お父さんも姉ちゃんも非常によろこんでゐます。これからも、もっともつとヨイコになつてお母さんのお加勢し、お父さん達を安心させなさいね。

それから尚男ちゃんの病氣はなほりましたか。永い間下痢したのなら、やせてしまつたでせう。どんなにかしらすと心配です。邦子ちゃんはどうしてゐますか。もう大分(だいぶ)おしゃべりになつてゐることです。

安ちゃん、もう学校に行つてゐるとのことですが、学校はいかがですか。なれないうちはいやな日や、つらいこと等あるでせうが、もう一時(いつとき)してゐるとだんだんおもしろいやうになりますよ。武雄の人に負けぬやうしっかりと頑張りなさい。

それには毎日毎日たとへ少しの時間でもよいから、机に向かつて予習復習をかかさぬ様になさい。毎日の予習復習を立派にすれば学校の勉強はほとんどおもしろく進みますよ。

安ちゃんは今からが一番大切な時ですから、分らぬところは勝さんや、望ちゃん、照ちゃん等にきいてしっかりと勉強しなさい。姉ちゃんも戦争に勝ち抜くまでにはうんとがんばる覚悟です。ではお元氣でおくらしなさい。

さやうなら

(原文のまま)

【平成二十三年八月 靖國神社社頭掲示】

時局に思う

「九段会館の昔ばなし」



日本遺族会
副会長

森田 次夫

東日本大震災で九段会館大ホールの吊天井が落下、二名の死亡者と多くの方がケガをされ、誠に申し訳なく、心からご冥福とお見舞いを申し上げます。次第である。

九段会館の躯体は堅牢とはいえず、築七十七年、これからも営業を続けると

慎重審議の結果、五十四年間戦没者遺族の殿堂として、また、拠所であった九段会館を廃業という苦渋の決定をした。

五十余年前、九段会館を国から無償貸与を受けることで先人たちは大変な苦勞をされたとき。その秘話を「日本遺族会十五年史」からひろってみ

九段会館は戦前「軍人会館」と称し、御下賜金、軍人一人一円の拠金、残り満鉄が資金提供し、昭和九年に竣工した。敷地は靖國神社の境内地で、建物は在郷軍人会の所有であったが、終戦で同団体が解散させられ、土地建物共に国に没収され国有財産となった。

国立戦没者追悼施設
調査費計上は見送り

枝野幸男官房長官は8月12日、靖國神社に代わる国立の戦没者追悼施設の必要性について「内閣と言うよりは広く国民的に、少なくとも国会における議論が重要なテーマではないか」と記者会見で述べ、来年度政府予算での施設設置に向けた建設調査費計上を見送る方針を示した。

占領下は進駐軍が使用していたが、わが国が独立することとなり、国は旧軍人会館の払い下げを決め公告した。本会の前に先願者(某

大手労組)がいたが、四億円の払い下げ資金が調達できず棄権。第二順位者は本会。戦没者遺族が最も困っていた時代であり、「遺族の福祉のために利用するという目的は極めて好ましい」と時の政府から高く評価され、二億六千万円に減額内示があったが、当時、本会にそんな大金があるはずがない。さらに陳情して、それなら無償で払い下げ

となったとのこと。しかし、タダでもらっても不動産取得税さえ払えないということで、結局、昭和二十八年、法律二〇〇号で無償貸与を受けることとなった。今思うと無償払下げを受けた方がよかつたのか、無償貸与がよかつたのかは意見の分かれるところであるが、先人たちの必死の知恵がしのばれる。本会は屋号を「九段会

館」と命名。開業するにあたっての改修費は、戦没者遺族一世帯百円を拠金願ひ、総額八千九百万円を借入れ、これにあてた。昭和三十三年七月九日、先ず宿泊、食堂部門を開業。同年十月一日、結婚式場、宴会会、ホール部門を開業し、全館オープンした。その後のことは紙幅の関係でまたの機会といたしたい。

「岡山の塔」戦没者追悼式

11月11日(金)から二泊三日の日程で実施

県遺族連盟では毎年、県補助事業により、沖繩県糸満市の摩文仁の霊域に建立されている「岡山の塔」に於いて沖繩並びに南方諸地域岡山県出身戦没者追悼式を執り行い、国難に殉ぜられた戦没者

ご英霊をお慰めすると共に世界恒久平和実現をお誓い申し上げます。平成二十三年度は十一月十一日(金)から同十三日(日)の二泊三日の日程で沖繩県の戦跡地を巡り、十二日(土)には「岡山の塔」前に於いて岡山県及び沖繩県の関係当局のご臨席をいただき戦没者追悼式を挙行いたします。



詳細の日程は検討中ですが、参加経費は岡山西港を起点に昨年と同程度

遺族会の動き

平成二十三年八月行事表

- 4日 総社市遺族連合会役員会議(サントピア岡山)
- 15日 戦没者を追悼し平和を祈念する日
- 4日 全国戦没者慰霊大祭(靖國神社)
- 15日 全国戦没者追悼式(日本武道館)
- 20日 終戦の詔書奉戴日本興隆祈願祭(県護國神社)
- 23日 県護國神社萬燈みたま祭(県護國神社) 16日まで
- 28日 笠岡市戦没者慰霊祭(古城山公園・招魂社)
- 31日 日遺女性部幹事会(九段会館)
- 22日 日遺女性部研修会(東京都内) 24日まで
- 23日 津山市遺族連合会靖國神社団参(東京方面) 一泊
- 28日 県連盟正副会長・常任理事合同会議(県連盟会議室)
- 31日 秋季慰霊祭準備委員会(いさお会館)

平成二十三年九月行事表

- 8日 中国・四国ブロック遺族会会議(愛媛県) 9日まで
- 18日 県連盟役員・市郡遺族連合会事務担当者合同研修会
- 21日 県護國神社清掃奉仕(県連盟大会議室及び県護國神社)
- 24日 岡山陸軍墓地秋季彼岸祭(岡山市津高・旧岡山陸軍墓地)
- 29日 県連盟外国地域戦跡慰霊巡拝(東部ニューギニア方面)五泊
- 30日 高梁市成羽地区遺族会護國神社参拝(県護國神社)
- 津山市戦没者追悼式(津山市総合体育館)

平成二十三年十月行事表

- 5日 岡山県戦没者秋季慰霊祭(県護國神社)
- 6日 岡山県護國神社秋季例大祭(県護國神社)
- 13日 県連盟女性部平成23年度第一回研修会(舞鶴市方面)
- 14日 笠岡市陶山地区戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 17日 岡山市瀬戸遺族連合会役員研修旅行(呉市方面)
- 26日 久米郡美咲町戦没者慰霊祭(県護國神社)
- 29日 浅口市里庄町遺族会正式参拝(県護國神社)
- 29日 岡山市足守遺族会戦没者慰霊祭(県護國神社)

の概ね四万八千円(但し、戦没者遺族お一人の経費追加経費必要)を予定していますので、多くの皆様の参加を賜ります様ご案内申し上げます。お申し込み、お問い合わせは県遺族連盟まで。